

歴史を学び、語ることの意味



公益財団法人徳川記念財団
理事長 徳川 家広 氏

教育随想



令和4年10月1日

10月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想……………	1
公益財団法人徳川記念財団 理事長 徳川 家広 氏	
この人に聞く……………	2
盆栽家 岡田 昭平 氏	
羅 針 盤……………	2
竜美丘小学校 校長 吉田 章二	
ふれあい……………	3
美合小学校 教諭 見市 達俊	
特 集……………	4
誰もが自分らしく生活できる学校へ ～ジェンダーレスを進める各校の取り組み～	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
薄墨桜植樹(平成7年)	
この本を……………	8

自分よりも、うんと若い人たちが相手に歴史の話をすることが多い。せいか、「歴史を学ぶことの意味」といったものについて考えるようになった。というのも、今の若者や子供たちがこれから直面する近未来の世界が、希望に満ちたものであるとは、どうしても思えないからである。

たとえば、私が大学を卒業する頃には、二酸化炭素排出による地球温暖化の問題というのは、そろそろ政策的な問題として議論されるようになっていたが、一九九二年にリオデジャネイロで地球環境サミットが開かれるなどして、「大変だけれども、人類の叡智が発揮されるのでは」などと楽観的でいられたものである。それが今年になって日本でも、うち続く豪雨の被害の甚大さに、とうとう異常気象という言葉が使われ始めた。諸外国では、気候変動の厳しさは、さらに深刻である。そして戦争と平和の問題にしても、パンデミック

クにしても、経済格差にしても、すべてこの三十年あまりで、悪化してきている。

こうした、人類の存亡について真面目に心配しなくてはならないような恐ろしい時代に、大昔の人々の生を題材に、若い人たちに何を伝えるべきなのか？

このような問いに対して、私は「昔の人も、不安な未来に直面して、せいっぱいの努力をしたのだ」と答えることにしている。その結果として、現在の私たちの生活があるのだ、と。気候変動も、戦争も、疫病も、昔の人たちは全て経験し、そし

てけつきよくは、それらを克服してきた。

それは決して容易ではなかった。それでも諦めない人たちがいた。諦めない人たちは少数者として辛い思いをしたかもしれないが、けつきよくは自らの正しさを証明できた。未来への不安が尽きない時代だからこそ、こうした歴史は人を勇気づけてくれる。また、少数者への寛容を教えてくれる。自分の拙い話にも、そのような効用があることを祈りつつ、私は若い人たちの前に立って話す作業を続けている。

(とくがわ いえひろ)





盆栽と向き合う

盆栽家 岡田 昭平氏

令和二年、「岡田家の盆栽庭園」と銘打ったイベントを開く。若者や外国の方にも盆栽の魅力を伝え、盆栽の裾野を広げる第一人者として活躍されている。

令和四年には、伝統ある国風盆栽展の最高位に当たる「国風賞」を二年連続で受賞。岡崎をはじめ、名古屋、大阪などの展示会にも出展し、精力的に活動している。

— 受賞作品が完成するまでについて、お聞かせください —

受賞した作品は、私が五十年を掛けて育てた盆栽です。私は三十代の時に、盆栽家の知人に勧められて盆栽を始めました。この作品は、全くの素人だった当時から育てていた盆栽です。はじめは小さく、枝も真つすぐなものでしたが、一年一年手を

入れて育てることで、格好の良い形に仕上がりました。この樹の形が最も評価を受けたようです。

— 五十年間、どのようなことを大切に育ててきましたか —

盆栽は古さが最も重要です。枝配りや根張りも重要な要素です。これらを重点に置いて育てています。

一番頭に入れているのは、樹の形を作ることです。そのために、幹や枝に針金掛けをします。一回掛けた針金は、二、三年後には外さなければいけません。幹や枝が太って針金が食い込んでしまうからです。この作業を何年か繰り返しながら、枝の向きや角度を変えて、理想とする樹の形に近づけていきます。

剪定や肥料、植え替えもとても大事な作業です。盆栽は、鉢の中で小さく、自然に見えるように育てなければいけません。枝を剪定することで全体のバランスを整えます。根張りを良くするために、根を剪定して、新しい土に植え替える作業をします。肥料は、葉が大きくなり過ぎないように加減が必要です。樹の種類や季節、気候によって、毎年手入れの仕方が違ってきます。枝の切り過ぎや作業の時期がずれて、失敗したこともあります。このようなどきには、盆栽仲間と相談したり、失敗の経験から自分で考えたりすることで、方法や適切な時期を修正してきました。何年か育てていると、樹の状態を見て、作業のタイミングが分かるようになります。すべて自分

のこれまでの経験により判断して行うことが多いので、長く育てることが大切です。

そして、真夏は、毎日二、三回樹に水を掛けます。外出をして一日水やりをしないと枯れはしません。樹が弱ってしまします。挽回するの一年や二年かかってしまうのです。毎日の水やりは大変ですが、好きなことなので続けてこられました。

— 盆栽を育てる楽しみや喜びは何ですか —

一年一年で樹の形が変わっていくことです。これが一番の魅力です。樹は素直です。樹をよく見て、愛情をもって世話をすると、理想とする樹に育っていきます。自分の思い描く樹の姿に出来上がっていくのが最も楽しみです。

四十年近く育てている杉や赤松も思い出のある盆栽です。樹にはそれぞれ特性があります。樹の性質や習性を見極めて育てることで、それぞれ個性のある樹に生長していきます。これからも、一本一本の樹と向き合い、じっくりと大切に育てていきたいと思っています。



氏名 おかだ しょうへい
生年月日 昭和八年 三月二十五日
住所 岡崎市井田町

受け継がれているもの

竜美丘小学校

校長 吉田 章二



ある朝、一番に登校してきた三年生の児童が「校長先生、さっきキビタキの鳴き声が聞こえたよ」と、鳴き声のマネをしながら、話してくれました。特別な出来事としてではなく、日常の一場面を報告してくれているようで、この子にとって、野鳥が身近な存在であるのだなと感心しました。

子供たちの関心が少しでも自然に向くようにと、登校してくる子たちにパネルを使って問題を出している。ハクセキレイやメジロなど野鳥に関する問題を出したときには、多くの子供たちが、ごく自然に野鳥の名前や鳴き声を答えられるから驚きである。竜美丘小学校は、北隣に「野鳥の森（竜美ヶ丘公園）」があり、市の中心にありながら自然に恵まれてい



自分を信じて

美合小学校

教諭 見市 達俊

最終学年がスタートした四月、「卒業式で、胸を張って返事ができるよ」に、この一年を精一杯頑張ろう」という言葉をクラスの目標に掲げた。それは、常に背中を丸め、伏し目がちなAへの願いでもあった。

Aと出会ったのは、Aが四年生のときだった。私が顧問を務めるソフトボール部に入学したAは、何事にも自信なさげで、聞こえないような小さな声の子だった。運動が得意なのに、どこか遠慮して思い切ったプレーができない。ノックで捕球しても送球先に自信がないのか、どこにも投げられないことがあった。Aの担任となり、六年生最後の一年は、自信をもって堂々と胸を張る姿が見たいと願った。

そこで、Aを認める声かけをしていくことにした。学級や部活動でよいところを見つけては声をかけた。どれだけ褒められても「はい」と相変わらず小さな声で返事をするくら

いで、大きな変化は見られなかった。

一学期の保護者懇談会で家庭での様子を聞いた。家でのAは、時間があれば、ひたすらソフトボールの練習をしているというのだ。それを聞いて驚いた。「選手になって活躍したい」「そんなAの秘めていた熱い思いに気付かなかったことを後悔した。

初めての練習試合の日、練習の成果が見られることを期待して、Aの打席を見ていた。一球目、高めのボールを見逃した。判定はストライク。不安そうな顔をして、私の方を振り返り、サインの確認をした。

「大丈夫、思い切って振ればいいよ」そう声をかけたが、Aの表情は緊張のせいか引きつって見えた。二球目、同じようなボールを見逃した。今度はサインの確認もできないほど固まっていた。そして三球目。ど真ん中のボールを微動だにせずに見送り、結果は見逃しの三球三振。一度もバットを振らずに打席を終了した。背中を丸め、今にも泣きそうな表情でベンチに戻ったAに私は声をかけた。「もっと自信をもて。あれだけ練習してきたんじゃないか。自分を信じて。打つても打たなくても、先生は絶対に代えない。だから自分の努力に胸を張って堂々と戦ってほしい」。

結果だけを見て進めないでいるAに、なんとか自信をもって進んでほしいかった。この言葉を私の目をしっかりと見て涙を流しながら聞いていた。その日からAの態度が変わっていった。学級でも少しずつ自分の意

見を言おうとする姿が見られるようになった。「その考え方すごくいいじゃん」と声をかけると元気に「はい」と返事をした。部活動の練習では今までと比べものにならないほど声を出した。ノックでミスしても、「もう一球お願いします」と食い下がる。バッターボックスに入ると、強い気持ちの伝わる思い切りのよいスイングをするようになった。やがてチームメイトにも実力を認められるようになった。最後の大会では、チームの支柱として仲間を大きな声で励まし続けるAの姿があった。

そして、迎えた卒業式。「はい」という大きな返事とともに卒業証書を受け取ったAの背中のはまっすぐに伸びていた。力強い「はい」の一言や、胸を張って堂々と歩く姿に一年間の頑張りが見えた。中学校でも、自分に自信をもって堂々と胸を張って歩んでいくことができることに信じている。



る。児童会のボランティア活動によって野鳥の森美化作戦が始まり、「野鳥を増やし、鳥のさえずりがいっぱい聞こえるようにしたい」という思いから、昭和五十三年に愛鳥集会が始まった。当時の資料を見ると野鳥の森に巣箱を設置したり、えさ台を設置したりするなどの活動を行っていた。現在は、新型コロナウイルス感染症の心配もあり、全校そろっての集会が行っていないが、野鳥に関するクイズラリーを行ったり、科学部の児童が野鳥に関する発表を行ったりして、子供たちに野鳥への関心、自然を大切にすることが育つようになっている。様々な変遷を経て、現在に至っている。

学校にはそれぞれ特色があり、長い間受け継がれてきている活動がある。時代の流れ、社会の変化の中で、先人が知恵を出し、努力したおかげで、脈々と続けられているのである。そして、そこには、形として現れない思いも、確実に子供たちに受け継がれ、行動や誇りとなって表れている。だから、受け継がれてきたものを大切にするとともに、その時代に合うように変化させ、さらに次の世代へとつなげていくことは、私たちの使命の一つである。

誰もが自分らしく生活できる学校へ

～ジェンダーレスを進める各校の取り組み～



▲男女混合名簿順で整列（大樹寺小）

二〇三〇年までに持続可能でよりよい世界を目指すSDGsには、**5**「ジェンダー平等を実現しよう」というゴールが設定されている。

「ジェンダーギャップ指数2022」（WPIF・七月十三日）によると、日本の男女格差の指数は、一四六か国のうち一六位だった。アジア太平洋地域の最下位である。この指数を「教育」「政治」「経済」の分野別で見ると、「教育」は一位であり、識字率と就学率における男女の格差はない。一方、「経済」の一二二位、「政治」の一三九位が全体の順位を大きく引き下げている。教育の機会が男女平等ではあるものの、今後、子供たちが社会参加をする年代になったとき、ジェンダーギャップに直面することが予想される。

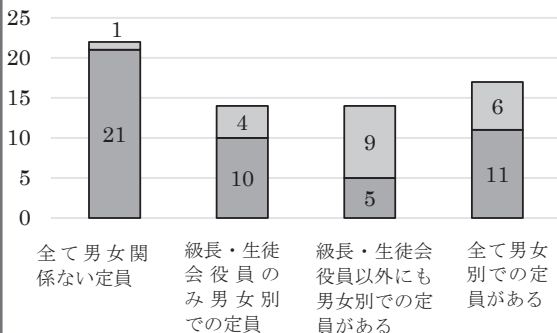
市内の学校にアンケートを行い、ジェンダーレスの現状を追った。すると、すべての子供が安心して通える学校づくりを目指し、学校においてジェンダーレスに対する取り組みが進んでいることが明らかになった。男女混合で並ぶ学校が多数であり、委員会の男女別定数を見直す学校が多い。中学校では性別に関係なく制服にストラップを選べる学校が増えている。また、小学校では市の取り組みとして新一年生の通学帽子が男女同じデザインとなった。また、入学式や卒業式では、ほとんどの学校が男女混合名簿で点呼をしていることが分かった。学校におけるさらなるジェンダーレスの推進は、社会におけるジェンダー平等の意識を広げることにつながっていくだろう。すべての子供が自分らしく生活できる学校、そして、すべての人が自分らしく生きられる社会の実現を願う。

組織づくり

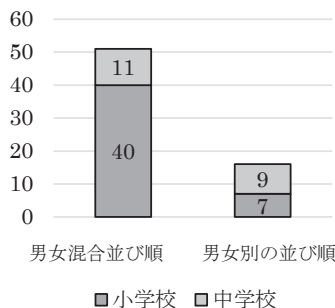
(市内小中学校67校に調査)

入学式・卒業式の点呼

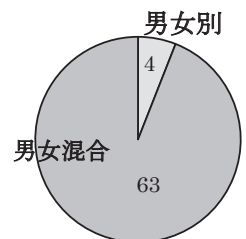
委員会の男女別定数 (校数)



学級での並び順 (校数)



入学式・卒業式の点呼 (校数)



市内小中学校の取り組み

中学校「制服の変更」



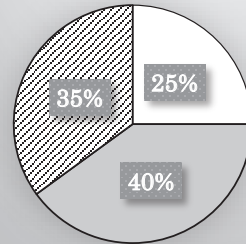
▲男女兼用の新しい制服（常磐中）

冬のスカートは寒いです。制服としてスラックスも選べるようになってうれしいです。（常磐中・生徒）



制服が変わり、今年からスラックスかスカートを選べるようになりました。子供の選択の幅広がり、いいことだと思います。（常磐中・保護者）

ジェンダーレスを意識した新しい制服への変更 （市内中学校 20校）



- 変更した、または昨年度以前に変更した
- 来年度以降変更する予定
- 今後変更することを検討している

中学校「男女混合体育の実施」



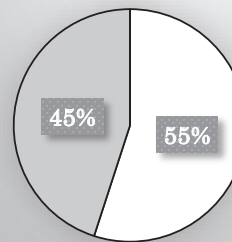
▲男女混合での体育（新香山中）

男女混合体育授業の工夫

- 身体接触がある活動は、同性のペアになるように配慮している。（常磐中）
- 男女間の能力差を考えたルールや場の工夫をしている。（竜海中）
- 水泳の授業は、男女別のコースで行っている。陸上競技などは種目別の男女混合で行っている。（福岡中）
- 性別にとらわれず実施できる学習課題を工夫している。（美川中）



男女混合での体育の授業 （市内中学校 20校）



- 全種目男女混合
- 種目によっては男女別で行う

市による取り組み



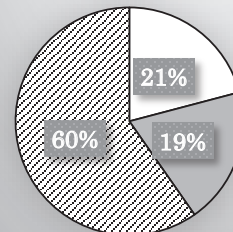
▲男女同じ通学帽の1年生（羽根小）

学校における授業や講演会



▲講師を招いての性教育の授業（常磐中）

ジェンダーレスを取り上げた授業や講演会 （市内小中学校 67校）



- 行った
- 今年度行う予定
- 今年度行う予定はない

他にもある学校における取り組み

- ・学級での係やグループ活動では、男女比を設けない。（豊富小）
- ・サッカー部や野球部においては、男女の区別なく入部を許可している。（六名小・六ツ美中）
- ・教室の座席は男女別の列を設けていない。（額田中）





令和四年度研究発表会

本年度も、新型コロナウイルス感染症対策を十分講じながら、研究発表会を開催する。教員の授業力向上に役立つる学びの機会として、ぜひ研究発表会を活用してほしい。

研究発表会

◆岡崎市立大門小学校

十月十九日(水)

「学ぶ楽しさを実感し、学び続ける子どもの育成」一人も取り残さない「個別最適な学び」を実現するチーム学習を核にして」

大門小学校では、未来社会を生き抜くために、すべての子どもたちが必要な資質能力を身につけ、学ぶ楽しさを実感できる授業のあり方を研究してきた。具体的には、一斉授業からの脱却を図り、「子どもが主体となって学び、必要に応じていつでも助け合う

ことができる『チーム学習』とICTを活用して、自己調整を促す「学びをふり返る活動」に重点を置き、日々実践に取り組んできた。

当日は、研究発表、全学級の授業公開、授業を語る会を行う。 ※市委嘱 (R2~4)

◆岡崎市立東海中学校

十月二十六日(水)

「自ら未来を切り拓く生徒の育成」

「ファシリテーションを核としたチーム学習を通して」東海中学校では、全ての教科・領域の授業を同じチームで学び、教師がファシリテーションに徹する授業を通して、自立的・共生的に学ぶことができると考え、研究してきた。そして、適切な環境づくりをした上で生徒に学びをゆだねる授業の中で、生徒同士がファシリテーション(＝学びの支援)をし合うことで学びを深めることができる授業を実践してきた。

当日は、研究発表、全教科の授業公開、授業を語る会を行う。 ※市委嘱 (R2~4)

◆岡崎市立梅園小学校

十一月九日(水)

「未来を自分らしく生き抜く子供」

「三十年後を見据えた新しいキャリア教育の創造」梅園小学校では、自分らしい生き方の実現を目指すキャリア教育を、かわり合いの中で育むことができると捉え研究してきた。そして「どうして・だよね・でも・だって・どうやって」の「5D」を指標とする「こだわりをもったかわり合い活動」を打ち立てた。その活動を促進するために、「ズレによって生まれる問いの設定」「ひとり調べの工夫」「プレゼン・クエスチョン・コンセンサス・マイトークチャンネルの発動」「キャリア・パスポートタイムの導入」を手だてとして授業で講じてきた。

当日は、研究発表、全学級の授業公開、授業を語る会を行う。 ※市委嘱 (R2~4)

◆岡崎市立竜海中学校

十一月二日(水)

「自ら学び続ける生徒の育成」(第十二次研究四年度)

「読む」「書く」の充実を図り、「わかる」の実感を強める学習指導を中心に、竜海中学校では、昭和三十八年以来、五十九年間一貫して「わかる学習指導」の自主研究を継続している。第十二次研究(令和元年~四年継続)では、「自ら学び続ける生徒の育成」を研究主題とし、今年度は四年度を迎えた。

本次研究では、「単元や単位時間の終末段階の充実」を重点事項として、各教科の授業実践を積み重ねている。 当日は、国語・社会・数学・理科・保健体育・家庭・英語・特別支援(道徳)で公開授業及び研究協議会を行う。 ※自主発表

表彰関係

◆令和4年度全国中学校総合

体育大会剣道大会兼第52回全国中学校剣道大会

○男子団体の部

出場 矢作中

○男子個人の部

出場 矢作中 重富 朝陽

◆第49回全日本中学校陸上競技選手権大会

○女子四種競技

13位 東海中 平塚 玲音

○男子400m

出場 岩津中 川添 蓮

◆第44回東海中学校総合体育大会剣道大会兼第53回東海

ブロック中学校剣道大会

○男子団体の部

ベスト16 矢作中

○男子個人の部

ベスト8 矢作中 重富 朝陽

◆第44回東海中学校総合体育大会ソフトテニス大会兼第

51回東海中学生ソフトテニス選手権大会

○女子団体の部

出場 矢作中

○女子個人の部

出場 矢作中 青木 陽菜 鎌倉 有希

◆第44回東海中学校総合体育大会水泳競技大会

○男子の部

・100m背泳ぎ 川崎 葉太

・3位 福岡中

・100m平泳ぎ 岡田 爽良

・8位 矢作北中

・4x100mフリーリレー 川崎 葉太

出場 福岡中

林 利晃 佐藤将太郎

木村 伯斗



- ・4×100mメドレーリレー
出場 福岡中 川崎 葉太 林 利晃 佐藤将太郎 木村 伯斗 岡村 陽仁 橋本 一輝 佐藤 圭悟 佐々木蒼生
- 女子の部
・400m個人メドレー
6位 矢作中 中村 心音
- ◆第44回東海中学校総合体育大会柔道大会
○男子個人の部
出場 矢作中 立野太一郎
- ◆第44回東海中学校総合体育大会陸上競技大会
○男子の部
・400m
6位 岩津中 川添 蓮
・110mH
出場 福岡中 藤田 唯央
・800m
出場 岩津中 宮田 蓮
- 女子の部
・100mH
4位 東海中 平塚 玲音
走高跳
出場 岩津中 南 紗織
- ◆第77回東海吹奏楽コンクール
○中学校大編成
銅賞 矢作中
- ◆2022年度愛知県吹奏楽コンクール
○中学校大編成
金賞 美合小
- ◆2022年度愛知県吹奏楽コンクール
○中学校大編成
金賞 美合小
- ◆第52回愛知県野生生物保護実績発表大会
朝日新聞社賞 竜美丘小
愛知県教育委員会賞
金賞(東海大会出場) バンドフェスティバル
銀賞 山中小
三島小
- ◆第89回NHK全国学校音楽コンクール愛知県コンクール
○小学校の部
金賞(東海北陸ブロック出場) 美合小
- ◆第80回全日本学生児童発明くふう展
奨励賞 岡崎小 佐々木康之助
- ◆第52回愛知県野生生物保護実績発表大会「輝く未来のいきものサポーター」
愛知県自然観察指導員連絡協議会賞
- ◆令和4年度少年の主張愛知県大会
優秀賞 竜海中 渡辺 皓大
- ◆第62回愛知県合唱コンクール
○中学校部門同声合唱の部
金賞(中部決勝大会出場) 六ツ美北中 竜海中
- ◆愛知県教育委員会賞
朝日新聞社賞 矢作中
○中学生A編成の部
金賞 竜海中 翔南中
金賞 六ツ美北中

令和4年度小学校水泳大会 大会結果

【北ブロック】会場：市内小学校プール

	優勝	第2位	第3位
男子	広幡	梅園	矢作東
女子	六名	梅園	大樹寺

【南ブロック】会場：市内小学校プール

	優勝	第2位	第3位
男子	福岡	小豆坂	六ツ美西部
女子	羽根	竜美丘	六ツ美南部

個人成績 (1位のみ)

新…大会新記録

種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
5年50m自	大平 琉陽	広幡	31"4	神谷 愛陽	梅園	39"6
6年50m自	今田 和希	細川	35"0	澤田 里穂	六名	39"9
6年100m自	古茂田尚宗	矢作東	1'13"1	加藤いちご	広幡	1'11"3
6年100m平	石川 煌起	矢作東	1'20"0	長岡 樹里	矢作東	新1'26"7
6年50m背	石黒 海渡	梅園	43"0	渡橋 夢心	岩津	44"5
6年25mバタ	小川 天煌	矢作東	16"7	池野優美花	矢作西	新16"3
6年50m平	菊池 貫次	矢作西	46"1	梅木 智永	六名	45"3
200mリレー	大平・菅原 加賀谷・鈴木	広幡	2'21"2	北條・澤田 梅木・落合	六名	2'37"2

個人成績 (1位のみ)

新…大会新記録

種目	男子			女子		
	氏名	学校	記録	氏名	学校	記録
5年50m自	大岡 創祐	六ツ美西部	35"7	鈴木 彩心	根石	新32"9
6年50m自	段下慶士郎	六ツ美中部	34"1	道本 瑛万	六ツ美西部	34"2
6年100m自	中山 新太	山中	新1'06"1	種池 祐月	六ツ美北部	1'10"0
6年100m平	河田 聖央	三島	1'32"1	内山 結陽	六ツ美北部	1'31"9
6年50m背	恩田 樹希	六ツ美中部	36"0	寺井 鈴	岡崎	39"1
6年25mバタ	江口 斗真	福岡	19"5	吉田 心虹	小豆坂	16"9
6年50m平	小笠原 漣	福岡	42"2	中出 一花	羽根	48"8
200mリレー	江口・林 小笠原・坂井	福岡	2'20"9	近藤・尾上 坂田・高木	竜美丘	2'32"9

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

・カ
ツ
ト

葵
中
浅
井
優
子

うすずみさくら
薄墨桜植樹
(平成7年)

写真提供：矢作北中学校



地域の方が温かく見守る中、淡墨桜の苗を日名橋河川公園に植樹する生徒たち。当時の生徒会活動「次の世代へつなごう計画」の活動の様子である。

矢作北中学校では、開校より学区の方と共に環境美化に努めてきた。矢作川沿いの風光明媚な景観を、未来へ託していきたいという生徒の思いが、地域の人々を動かした。淡墨桜の苗は、岐阜県本巣市(旧根尾村)から寄贈されたものである。飛鳥時代の伝説と生徒の願いを秘めた淡墨桜の、陽春に咲き誇る気品ある姿が、令和の時代となっても行き交う人々を安らかな気分させてくれる。

地域を愛し、大切にして次へつなごうとする心は、今も昔も確かに育まれ、岡崎の地に息づいている。



*「幸せ先生」×「お疲れ先生」の習慣
澤田真由美
明治図書 ¥1,800

心に残った一文

お疲れ先生はまとまった時間に仕事をするが、幸せ先生は1分でも仕事を進める

教員の働き方改革を目指し、新しい時代の学校デザインが提案されて2年目となる。組織としての工夫が進められる中で、教員一人一人の意識改革がより一層求められる。本書にはワークライフバランスを保つためのヒントが満載である。

例えば、成績付けなどの繁忙期は残業しがちである。しかし、仕事を細分化して小さな締め切りを設定することで、無理なく進められるようになるというわけだ。

先生たちの元気こそが子どもたちの笑顔を引き出すことになる。そのために日々「お疲れ先生」ではなく、「幸せ先生」であってほしい。

- *教師のいない授業のつくり方 若松 俊介 明治図書 ¥1,800
 - *不登校に陥るこどもたち 成重竜一郎 合同出版 ¥1,500
 - *「たくましく生きよ」そして「共に生きる」 佐藤 淳一 ワニプラス ¥1,500
- 北中学校 柴田 和美

「本当の自分でいられる」と、誰もがが心から感じられる教室。個性を受け入れ、広い心で子供と向き合える教師でありたい。性の多様性が注目され、学校教育でも様々な取り組みがなされている。誰もが自信をもって自分らしく生きられるような居場所に、学校がなるために。

遠くまで澄み渡る青空の下、元氣いっぱい競技や演技に励む子供たち。スポーツの秋、芸術の秋がやってきた。

コロナ禍になってから三度目の秋である。逆境に負けじと、各校で学校行事の検討が重ねられている。最後には、子供たちの笑顔があふれる行事になるよう工夫したい。

ど
ホ
ツ

神無目



▲オータムコンサート(大樹寺小)

「常に樹の形が変わっていくのが盆栽を育てる楽しさ」と岡田さんは語る。盆栽と向き合い、特性を見極めて樹に合った手入れをする。岡田さんの深い愛情によって育てられる盆栽は、観る人を魅了する。子供に真摯に向き合い、育つ芽を見逃さず、愛情をもって関わる教師の営みと重なった。